

新考古覧

岡谷市史編さん室だより『新考古覧』No.36

2026(令和8)年 1月

岡谷市教育委員会生涯学習課

岡谷市史編さん室 編集・発行

岡谷市中央町1-11-1 イルフプラザ3F

TEL 0266-78-8455



WEBはこちら

新考古覧：古い事柄を顧みて、新しい問題を考察すること

～岡谷の歴史を深く思い、岡谷の今を重ね、岡谷の未来が拓けるような新しい市史をめざして～

調査レポート「諏訪湖②・教育活動や湖周の利活用」

【教育活動】諏訪湖を次の世代に引き継ぐ教育活動のいくつかを紹介します



諏訪湖クラブによる 長地小学校での下水道学習

4年生は令和7年7月11日、諏訪湖の環境問題などに取り組む市民団体「諏訪湖クラブ」の出前授業で諏訪湖の環境について学びました。同クラブは令和5年度から、社会科の単元で上下水道などについて学ぶ小学4年生に対して出前授業を行っています。



諏訪湖クラブHP

☞ (R7.7.12 岡谷市民新聞1面 部分)



岡谷南部中学校の総合的な学習

1年生と3年生は令和7年度も、総合的な学習の時間で諏訪湖について学びました。1年生は、諏訪湖環境研究センターの見学を通して諏訪湖の成り立ちや動植物等について学びました。3年生は『ふるさと学習』として立ち上げた5講座の一つ『諏訪湖講座』で「つり」「ヒシ」「諏訪湖の歴史」「諏訪湖の観光スポット」の4グループに分かれ課題を追究、文化祭で成果を発表しました。



岡谷こどもエコクラブの取組

身近な自然や暮らしの中で環境を学ぶ「岡谷こどもエコクラブ」は令和7年9月7日諏訪湖畔と信州大学諏訪臨湖実験場で、海洋汚染の原因となるマイクロプラスチック(MP)を調べる活動をしました。この日は市内の小学生と保護者ら50人が参加しました。

☞ (R7.9.8 長野日報1面 部分)



諏訪湖環境研究センターの取組

長野県諏訪湖環境研究センターは令和7年10月5日、施設公開を行いました。調査船に乗って諏訪湖を調べる体験会や、普段は入ることができない試験研究室の見学ツアーなどを行い、地域内外から大勢の人が来場しました。

☞ (R7.10.6 長野日報1面 部分)

諏訪湖環境研究センターHP



【湖週の利活用】 「諏訪湖水辺整備基本計画」による整備

長野県は「新たな諏訪湖の風景・自然そして文化を育む湖畔づくり」を基本理念とした「諏訪湖の水辺整備マスタープラン」を平成6年度に策定しました。このプランでは、「昭和30年代の諏訪湖の原風景」を参考とし、治水、親水、レクリエーション、景観、自然環境の観点から湖畔を8つのゾーンに区域分けをして、整備の方針を位置付けています(下図)。現在は、このマスタープランを引き継いだ水辺整備基本計画により整備等が進められています。(出典:「諏訪湖創生ビジョン」2023.3 長野県諏訪地域振興局)

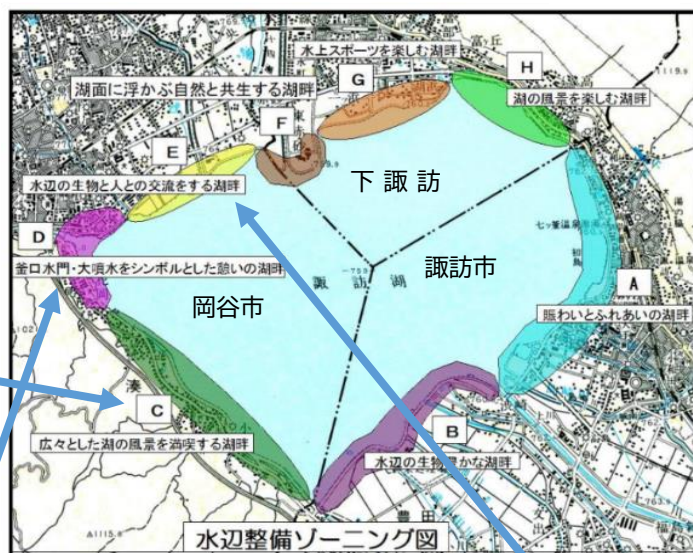


Cゾーン

広々とした湖の風景を満喫する湖畔



サイクリングロードとベンチ 写真: R7市史編さん室撮影



(「諏訪湖創生ビジョン」p.13に市史編さん室加筆)

Dゾーン

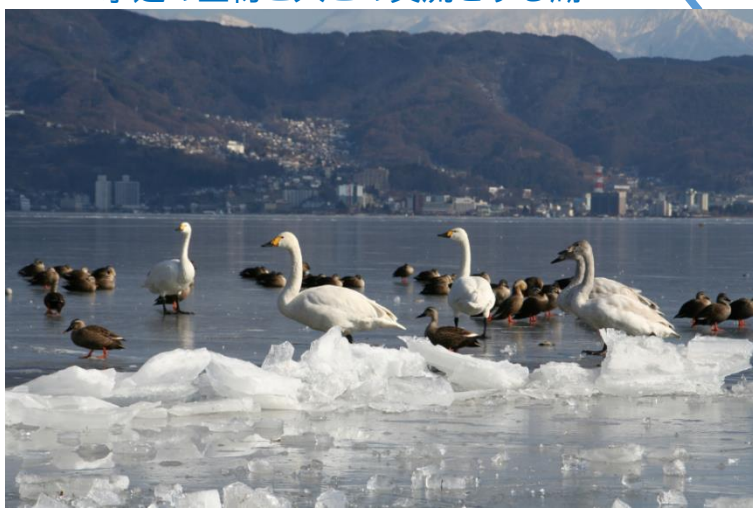
釜口水門・大噴水をシンボルとした憩いの湖畔



湖畔公園 写真: R7市史編さん室撮影

Eゾーン

水辺の生物と人との交流をする湖



コハクチョウ 写真: R4岡谷市商業観光課撮影(対岸は諏訪市)

ご愛読ありがとうございます。今年もよろしくお願いいたします。(担当: 市史編さん室専門職員 櫻井洋)